

キャンパスのごみ減量に向けた ワークショップ



in 龍谷大学深草キャンパス

かわら版

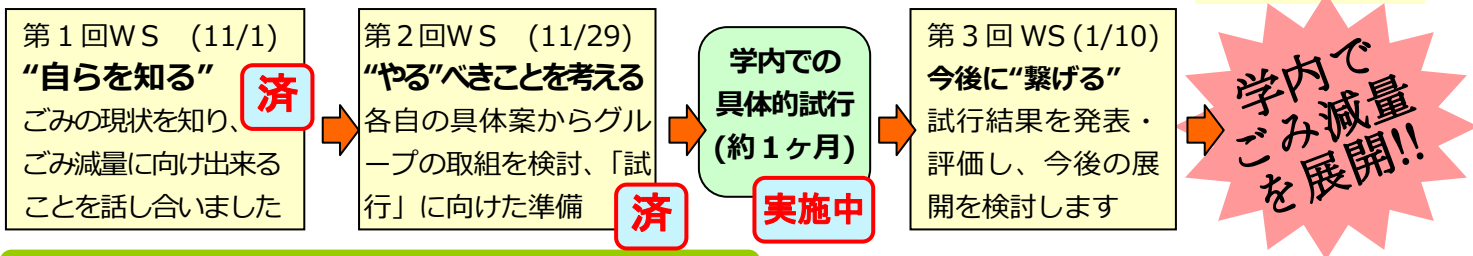
第2号 平成25年12月発行

● 自分たちで、ごみ減量に関してできることを考えました

龍谷大学では、キャンパスのごみ減量に取り組んでいますが、大勢がキャンパスを行き交うという大学ならではの特質から、ごみを出さない意識の定着や分別を徹底させることが難しく、ごみ減量の大きな課題です。

そこで、北川ゼミ（北川秀樹政策学部教授）、増田ゼミ（増田啓子経済学部教授）の学生及びその他の学生が中心となり、ごみの減量（発生抑制やリサイクル）に向けた「ワークショップ（以下WS）」を開催し、学内のごみ減量のための具体的な行動を試みています。

● ごみ減量の取組（ワークショップ）の全体スケジュール



● 第2回ワークショップの報告

テーマ 「龍谷大学のごみ減量作戦の実行に向けて」

日時 平成25年11月29日（金）9：00～12:15

場所 龍谷大学深草キャンパス22号館107教室

参加 龍谷大学 環境サイエンスコース学生、管理課、教員、生協
民間清掃会社 (株)ジャパンファシリティーズ、(株)宮徳商事
京都市 環境政策局事業系廃棄物対策室

主な内容

【1限目】「課題解決のための具体策」

- ▶ 1回目のWSを経験して、各自が考えた課題とその解決方法を発表。効果が高そう、意識向上に繋がりそう、など、ごみ減量の具体策を検討しました。

【2限目】「龍谷大学のごみ減量の試行に向けて」

- ▶ 1限目にでた案の中から、すぐ実行でき、効果の大きい取組を試行対象に選び、実施に向けたスケジュールや役割分担を話し合いました。



● グループワーキングで挙げた内容と、具体的な試行案のまとめ

○キャンパスのごみ減量のため、できればよいと思うこと

- ・古紙の発生抑制：学生や教職員に呼びかけ紙ごみを減らす。電子化の推進。
- ・生ごみの減量：飲み残しを捨てる場所を設ける。生ごみの水切りを徹底。
- ・分別行動の定着：オリエンテーションで説明。分かりやすい分別表示で意識向上。
- ・ごみ箱からあふれるごみ：回収頻度を上げるだけでなく、適切な分別へ誘導 等

○具体的な試行案

- 【1班】古紙の資源化：学生向けの古紙回収ボックスの設置。教員向けの古紙分別依頼文の配布
- 【2班】分別状況の向上：視覚的にわかりやすい透明ごみ箱の設置（ごみの種類ごとに、ごみ箱の色も変える）
- 【3班】分別状況の向上：ごみ箱を集約し、写真等を用いて具体的な分別品目を分かりやすく表示。

◆各グループのごみ減量・資源化の実践(試行)内容

日時 平成25年12月11日～24日 **場所** 龍谷大学深草キャンパス内

内容 各グループで決めた試行内容について、大学や京都市の協力を受けながら、学内で試行しました。

1班 古紙分別の仕組みづくり

学内3箇所に古紙分別ボックス設置し、プリント等の古紙の資源化を実施。



2班 透明ごみ箱を用いた分別意識の向上と分別行動の促し

利用者の多い生協前に、透明のごみ箱を設置し、燃やすごみ、缶、びん、ペットボトル、プラスチック、古紙を分別。



学生が考えたごみ減量・資源化の仕組みを深草キャンパスで試行中です。ご協力ください！！

3班 具体的な分別表示による、分別行動の意識付け

カフェ樹林付近のごみ箱を集約。具体的な分別品目を分かりやすく掲示。



全体 キックオフイベント

試行初日の12月11日に、取組を知らせるチラシの配布などを行いました。

● 第3回WS以降のスケジュール(試行からその評価、大学への提案まで)

◆第3回ワークショップ

～試行結果の発表・評価、今後のごみ減量に向けた提案～

日時 平成26年1月10日 **場所** 深草キャンパス22号館107教室

内容 各グループの試行内容を発表します。試行結果をもとに、今後のごみ減量に向けた提案をまとめます。

今後を見据えた
大学への提言を
検討します！！



キャンパスのごみ減量に向けたワークショップかわら版 第2号

編集・発行：京都市環境政策局事業系廃棄物対策室

京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384 ヤサカ河原町ビル7階

TEL：075-366-1394 FAX：075-221-6550